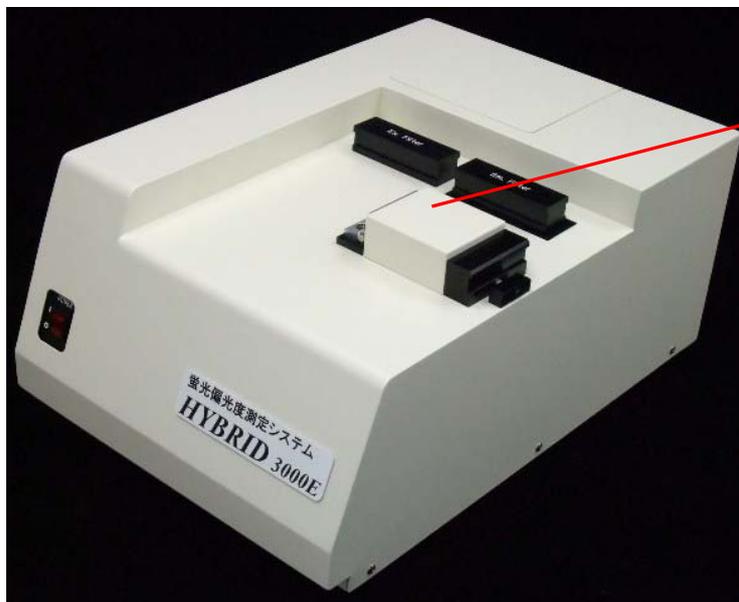


蛍光偏光度測定装置 HYBRID-3000E



■ 温調機能付き試料室

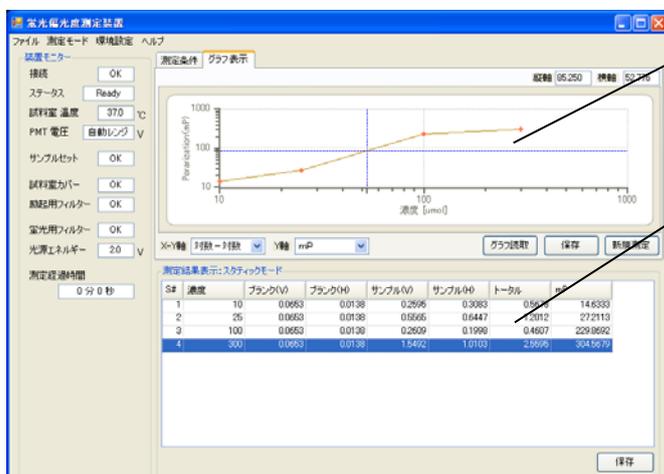
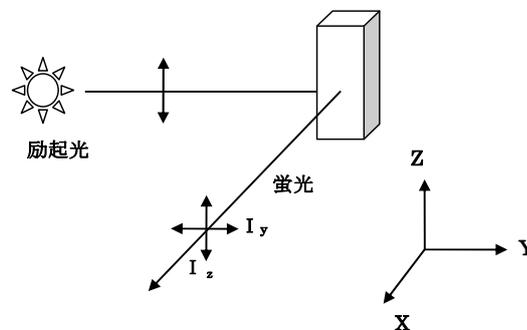


■ 小容量 (100 μl) 試験管

蛍光偏光法は大きな分子ほど回転ブラウン運動の回転速度が遅くなることを利用した解析方法です。蛍光偏光度 P は励起光の偏光方向に平行な蛍光成分 I_z と垂直な蛍光成分 I_y を用いて右の式のように定義されています。この式から小さな分子は回転速度が速いため I_y 偏光成分が大きくなり、偏光度 P は小さく、逆に大きな分子は回転速度が小さくなり I_y 偏光成分が小さく、偏光度 P は大きくなります。

蛍光偏光度 P を観測することにより種々の生体物質間の相互作用（複合体形成、解離、分解、高次構造の変化等）に関する知見をリアルタイムで得ることができます。

$$P = (I_z - I_y) / (I_z + I_y)$$



■ 測定結果表示例

● **グラフ表示部**
リアルタイムで測定値をグラフにします。その場でシグモイド曲線も見られます。

● **数値データ表示部**
リアルタイムに必要な全ての数値が表示されます。

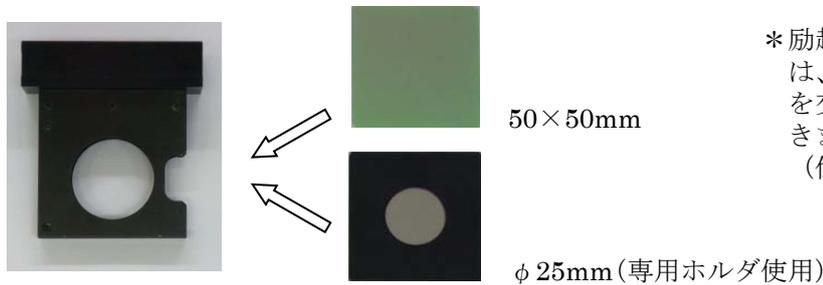
- ・濃度
- ・ブランク測定値 (H、V)
- ・サンプル測定値 (H、V)
- ・Total 測定値
- ・蛍光偏光度 mP

〔 特 徴 〕

- 迅速で高感度な生体物質間相互作用測定（偏光子回転に新方式）
- 少量の試料（100 μ l）でOK！
- 測定コントロールもデータ処理もPC1台でOK

〔 用 途 〕

- 生体物質の分子間相互作用の高感度測定
 抗原-抗体、リガンド-レセプター、
 DNAハイブリダイゼーション、etc



* 励起光及び蛍光測定波長は、バンドパスフィルターを交換することで変更できます。（仕様波長範囲内で）

■バンドパスフィルター サイズの異なるフィルターにも対応

主な仕様	HYBRID-3000E	※本仕様は予告なく変更することがあります。
使用波長領域	360~700nm	
励起光（標準）	480nm（フィルター交換可）	
蛍光測定波長（標準）	530nm（フィルター交換可）	
光源ランプ	ハロゲンランプ DC12V、50W	
検知器	光電子増倍管	
試験管／試料量	φ6×50mm（シングルユース）／100 μ l以上	
試料温度制御	15℃~60℃	
測定モード	①スタティックモード、②キネティックモード、③蛍光強度モニター	
制御及びデータ処理	PC（USB端子付き）／OS：Windows®7、Windows®XP（32ビット版）	
サイズ	本体 295(W)×430(D)×200(H) *突起物を除く	
電源・消費電力	AC100V 50/60Hz、200W (Max)	

	<p>製造元 株式会社 フォトサイエンス 〒192-0914 東京都八王子市片倉町 492-1 コーセーマンション 1-D Tel:042-649-1447 Fax:042-649-1455 URL http://photoscience.co.jp</p>
--	---